

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県蘇我スポーツ公園スポーツ施設
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・市におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図り、市民の健康、体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指す。(平成29年6月設定)
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。 ・日頃、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。 ・地域や区のスポーツ大会やイベントの開催場所を提供する。 ・災害時に各施設の機能が発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。(平成29年6月設定)
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者サービスの向上及び管理経費の削減の効果を見込んでいます。
成果指標	① 利用者数(選定時は未設定) ② 稼働率(選定時は未設定)
数値目標	① 選定時は未設定 ② 選定時は未設定
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	MMT 共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	(代表) 株式会社千葉マリスタジアム 日本メックス株式会社 東洋グリーン株式会社
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉港2-1
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	—
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
利用者数(選定時は未設定)	選定時は未設定	712,865	—
稼働率(選定時は未設定)	選定時は未設定	フクダ電子アリーナ:38.5% フクダ電子スクエア:57.4% フクダ電子ヒルコート:65.0% フクダ電子フィールド:63.6% フクダ電子グラウンド北:21.6%	—

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H29年度実績
選定時は未設定	—
選定時は未設定	—

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	145,500	147,950	実績－計画	0	
	計画	145,500	147,950	計画－提案	△ 5,648	フクダ電子フィールド®人工芝化による減少
	提案	151,148	151,148			
利用料金収入	実績	117,267	105,387	実績－計画	20,614	フクダ電子フィールド®人工芝化による増加
	計画	96,653	94,147	計画－提案	5,704	フクダ電子フィールド®人工芝化による増加
	提案	90,949	90,949			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	262,767	253,337	実績－計画	20,614	
	計画	242,153	242,097	計画－提案	56	
	提案	242,097	242,097			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	108,258	107,358	実績－計画	11,563	
	計画	96,695	102,961	計画－提案	△ 13,379	時間外業務の削減を計画したことによる減
	提案	110,074	110,074			
事務費・管理費	実績	68,972	63,819	実績－計画	△ 16,054	一部業務を委託費へ変更したことによる減
	計画	85,026	79,354	計画－提案	5,708	
	提案	79,318	79,318			
委託費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
委託費	実績	98,100	95,795	実績－計画	37,668	事務費・管理費の一部業務を変更したことによる増、グラウンド整備・清掃等の回数増加
	計画	60,432	59,782	計画－提案	650	
	提案	59,782	59,782			
その他事業費	実績		0	実績－計画	0	
	計画		0	計画－提案	0	
	提案		0			
本社費・共通費	実績		0	実績－計画	0	
	計画		0	計画－提案	0	
	提案		0			
合計	実績	275,330	266,972	実績－計画	33,177	
	計画	242,153	242,097	計画－提案	△ 7,021	
	提案	249,174	249,174			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績	130,890	181,157
その他収入	実績	0	0
合計	実績	130,890	181,157

イ 支出

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績	10,211	9,658
事務費	実績	178	130
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	11,236	10,437
事業費	実績	60,388	109,045
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	82,013	129,270

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	262,767	253,337
	支出合計	275,330	266,972
	収支	△ 12,563	△ 13,635
自主事業	収入合計	130,890	181,157
	支出合計	82,013	129,270
	収支	48,877	51,887
総収入		393,657	434,494
総支出		357,343	396,242
収支		36,314	38,252
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (選定時は目標未設定)	B	H29:712,865人 (H28:643,631人, H27:600,654人)
稼働率 (選定時は目標未設定)	C	フクダ電子アリーナ H29:39.2% (H28:35.8%、H27:36.9%) フクダ電子スクエア H29:57.4% (H28:60.6%、H27:66.4%) フクダ電子ヒルスコート H29:65.0% (H28:66.2%、H27:63.0%) フクダ電子フィールド H29:63.6% (H28:62.1%、H27:39.9%) フクダ電子グラウンド北 H29:21.6% (H28:20.5%、H27:22.3%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	B	適正な人員配置及び、専門職員の配置による業務運営が図れた。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	B	C	建物・設備の劣化診断及び省エネ診断を実施する他、提案事項に対する取り組みを実施。砂埃対策をおこなうのに、施設不具合に気付くのが遅れ、効果的な対応に時間を要した。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	B	65歳以上の団体の利用料金の50%減免を行う他、利用促進や利用時間外の貸出等を行った。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	B	日除けテント、簡易椅子の貸し出しを実施。アンケート等により利用者意見を集め、改善に努めた。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	B	C	Jリーグ開催や自主イベント等で飲食売店を積極的に展開。また常設広告看板の販売、増設を図った。コンサート実施時に、市が開催のための調整に多くの時間を割くことになった。
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			

4 その他				
	市内業者の育成	B	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			
	大規模災害時の対応			
	特別提案			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
	平成〇年度	
	平成〇年度	

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	<p><フクダ電子アリーナ> 調査方法：アンケート用紙を配布し回答記入後に回収 回答者数：1,568件（合計4回） 質問項目：性別、年齢、住まい、来場方法、HP・twitterについて、蘇我スポーツ公園の利用について、清掃状況、音楽イベント関係等</p>
	回答者数	<p><その他スポーツ施設> 調査方法：管理棟にアンケート用紙・回収BOXを常設 回答者数：494件</p>
	質問項目	<p>質問項目：性別、年齢、住まい、清掃状況、接客について、備品等について、料金設定について等</p>
結果	<p><フクダ電子アリーナ> ・トイレの数や設備への要望、駐車場の増加、分煙等の意見があった。駐車場から出るのに時間がかかるという意見が多かった。 ・Jリーグ観戦者からは、再入場希望の意見が多い。 ・Free Wi-Fiに関する要望が増加している。</p> <p><その他スポーツ施設> ・職員の接客、施設の清掃美化、利用料金の設定についてはおおむね良好な評価を得ている。 ・諸室やフィールドの使いやすさ、備品類についてもおおむね良好な評価を得ている。 ・フクダ電子スクエアの人工芝についての意見が多数あった。張替時期の他、怪我の可能性に対する指摘がある。 ・管理事務所の狭さに対する意見。大人の利用者が増加傾向にあり、シャワー室の要望も増えている。 ・強風による砂埃についての意見や改善要望が多い。 ・フクダ電子グラウンドについては、マウンドの設置等の要望がある。（利用者、千葉県少年軟式野球連盟） ・雨、防風、日よけに関する要望が多数あった。駐車場の料金、利便性についての意見があった。</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
フクダ電子ヒルスコートの人工芝張替	H30年度に、傷んだ箇所の部分張り替えを実施予定。
日よけの設置	H29年8月より、有料貸出テントを用意。(スクエア管理棟、ヒルスコート管理棟)
フクダ電子グラウンドの砂埃対策	強風時には散水にて対策。H29年3月末(～H30年7月末)、外野天然芝張工事を実施。砂埃は大幅な減少となった。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	指定管理3年目ではやはり、特別提案であった大型コンサート実施が大きな成果をあげている。開催することで地域との連携強化が大いに図れたこと、蘇我スポーツ公園スポーツ施設のPRが広く出来た事、さらにはジェフ千葉ともフェスティバル開催にタイアップでき、プロ(アマチュア以外)とアマチュアとの関係強化が図れた事は、今後のスポーツ施設運営においては非常に利用者にもたらす効果は絶大なものと認識できる。また、砂埃対策(問題)では早急な対応が図れた。これもまた、このイベント開催によるものであり、一つの興行開催から多大な功績をもたらすことができた。
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括評価	B	所見	指定管理3年目は、計画書に掲げた事項は概ね実行することができ、利用者数、稼働率は概ね目標を達成した。特別提案のLED化の代替案については、継続して協議をおこなっている。大型コンサートの誘致は評価できる一方で、開催のための調整など様々な課題が残った。第2多目的グラウンドから発生する砂埃が大きな問題となったが、散水の準備対応に三か月かかるなど時間を要した。引き続き、利用者の要望にあった管理運営を行ってほしい。
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 指定管理者による自己評価、市による評価のとおり優れた管理運営が行われていると認められる。今後も継続して、さらに市民にとって、より良い施設となるよう管理運営を行っていただきたい。</p> <p>イ 指定管理予定候補者選定時に成果指標及び数値目標(以下「成果指標等」という。)を設定していない施設については、前年度実績との比較による評価としているが、事前に設定した成果指標等に対する評価とは考え方が異なることから、これまでの実績等を勘案し、新たに成果指標等を設定されたい。</p> <p>また、成果指標等を設定している施設についても、当初想定していなかった大型イベントの開催に伴い、利用者数では大幅に達成しているにも関わらず、稼働率では達成できていない状況が生じている。評価に当たっては、利用者数についてはイベントと通常のグラウンド利用を、稼働率については平日と土日や祝日等のいわゆる休日を分けた実績を用いるなど、より実態に即した評価となるよう検討されたい。</p> <p>ウ 蘇我球場(フクダ電子アリーナ)は、一般の利用者にも貸出しをしているが、ジェフユナイテッド千葉のホームグラウンドとして、プロスポーツの興業が行われる施設である。その特性を踏まえ、一般の利用者と、広報等を含めたプロスポーツの興業に対する取組みとを分かりやすく分けて、評価できるように工夫されたい。</p> <p>エ 第2多目的グラウンド(北)(南)(フクダ電子グラウンド(北)(南))は、その利用の大半を野球が占めており、その利用状況に応じて、マウンドを設置することは、利用者ニーズに応えることとなり、満足度向上につながることから、市と十分協議し、設置を検討していただきたい。</p> <p>オ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設は、複数の施設により構成されているが、全施設を対象としたアンケートのみを実施している。こうしたアンケートも必要であるが、それぞれの施設を対象としたアンケートも併せて実施されたい。</p> <p>カ 平成29年4月に第2多目的グラウンド(南)(フクダ電子グラウンド(南))の供用が開始され、平成31年8月には円形野球場の供用開始が予定されているが、シャワー設備の数は、当初のままとなっている。満足度向上のため、利用者数や施設数を踏まえた対応を検討していただきたい。</p>
